田中祐二教授　略歴・研究業績一覧

学内役職歴

2000年4月-2001年3月　入試担当主事（入試・国際担当副学部長）
2002年4月-2003年3月　教学担当副学部長
2003年4月-2004年3月　企画委員長（企画担当副学部長）
2005年4月-2006年3月　研究科主事（大学院担当副学部長）
2008年4月-2009年3月　学生主事

研究業績

単　著

『新国際分業と自動車多国籍企業：発展の矛盾』単著　新評論　1996年7月

共編著

「クラスタリングと多国籍企業」中村雅秀・奥田宏司・田中祐二編著『グローバル戦略の新世紀パラダイム』晃洋書房，2004年）

「世界市民社会と多国籍企業」田中祐二・板木雅彦編著『岐路に立つグローバリゼーション―多国籍企業の政治経済学―』ナカニシヤ出版，2008年12月

「メルコスル（南米南部共同市場）と地域主義の性格」田中祐二・中本悟編著『地域共同体とグローバリゼーション』晃洋書房，2010年11月

「現代化する社会民主主義と地域クラスター」田中祐二・小池洋一編『地域経済はよみがえるか：ラテン・アメリカの産業クラスターに学ぶ』（「失われた10年」を超えて：ラテン・アメリカの教訓；第2巻）新評論，2010年12月

「クラスター形成の理論的基礎」田中祐二・小池洋一編『地域経済はよみがえるか：ラテン・アメリカの産業クラスターに学ぶ』（「失われた10年」を超えて：ラテン・アメリカの教訓；第2巻）新評論，2010年12月

「ブラジル航空機産業の公共性―航空機製造企業エンブラエル社のクラスター形成と企業の社会的責任―」田中祐二・小池洋一編『地域経済はよみがえるか：ラテン・アメリカの産業クラスターに学ぶ』（「失われた10年」を超えて：ラテン・アメリカの教訓；第2巻）新評論，2010年12月

「TPP推進論の根拠を問う」（内山昭氏と共同）田中祐二・内山昭編著『TPPと日米経済』晃洋書房，2012年9月

「解題」中川信義著（田中祐二・中本悟・杉本良雄編集）『世界価値論研究序説』御茶の水書房，2014年9月

著　書

「金融資本の国際的展開と帝国主義の諸理論：M. フェンネマによる役員兼任分析の批判的検討」

単著（関下稔編著『現代金融資本の諸理論：多国籍企業と多国籍銀行の多重的ネットワーク』同文舘，1988年９月）

「国際分業：日本の生産システムと新国際分業」単著（中川信義編著『国際産業論：グローバル・インダストリ論序説』ミネルヴァ書房，1993年）

「多国籍企業と産業技術の移転」単著（小池洋一・西島章次編『ラテン・アメリカの経済』新評論，1993年）

「1980年代のブラジル自動車・部品産業：国内市場停滞下での国際分業の展開」単著（谷浦妙子編『産業発展と産業組織の変化：自動車産業と電気電子産業』アジア経済研究所，1994年）

「ブラジル：従属的発展の矛盾と環境破壊」単著（森野勝好・西口清勝編著『発展途上国経済論』ミネルヴァ書房，1994年）

「生産方式の発展と取引関係の変化」単著（小池洋一・堀坂浩太郎編『ラテンアメリカの新生産システム論』アジア経済研究所，1999年）

「ブラジル通貨危機とその後のブラジル経済」単著（西口清勝・西沢信善編『東アジア経済と日本』ミネルヴァ書房，2000年）

「BRICs ブラジルの自動車産業の構造転換」単著（赤羽新太郎・夏目啓二・日高克平編著『グローバリゼーションと経営学―21世紀における BRICs の台頭―』ミネルヴァ書房，2009年４月）

「ブラジル―ラテンアメリカの経済動向との比較と『中所得国の罠』」単著（後藤政子・山崎圭一編著『ラテンアメリカはどこへ行く』ミネルヴァ書房，2017年）

学術論文

「従属派経済理論における世界蓄積論の検討：A. G. フランクの『世界資本主義システム』論批判」『立命館経営学』第22巻第１号，1983年５月

「ブラジル自動車部品貿易と多国籍企業の世界戦略」『立命館経営学』第23巻第５号，1985年１月

「ブラジル自動車部品輸出における政府と多国籍企業の役割：発展途上国経済の『従属的発展』と多国籍企業の行動論理」『立命館経営学』第24巻第５号，1986年１月

「『従属的発展』理論の意義と限界：ブラジルにおける多国籍企業，国家およびローカル資本の『同盟』と国際資本の運動」『立命館経営学』第25巻第３号，1986年９月

「ブラジルにおける自動車とその貿易について」『ラテン・アメリカ論集』（ラテン・アメリカ政経学会誌）No. 20，1986年11月

「金融資本の国際的展開と帝国主義の諸理論：M. フェンネマによる役員兼任分析の批判的検討」『立命館経営学』第26巻第５号，1988年１月

「自動車部品貿易をめぐる東アジア域内国際分業の展開：『新国際分業』論と多国籍企業論」『立命館経営学』第27巻３・４号，1988年11月

「ブラジルにおける自動車産業の発展：組立部門の競争形態と部品部門の構造変化」『アジア経済』（査読付き）第31巻第１号，1990年１月

「日本の生産システムと新国際分業―ホフマン＝カプリンスキーの『システモファクチュア』概念の検討―」『アジア・アフリカ研究』第31巻第３号，pp. 13-45，1991年７月

「ブラジル日系企業の技術移転状況とその問題点」小池洋一氏と共著（『ラテン・アメリカ論集』

（ラテン・アメリカ政経学会誌：査読付き）No. 29，1995年10月

「世界標準をめぐる多国籍企業のソーシング戦略とラテンアメリカ：大競争時代におけるワールドカー戦略の再来とブラジル自動車産業」単著（『立命館国際研究』10巻４号，1998年３月）

「生産技術の発展と多国籍企業における所有優位」単著（『立命館経済学』第49巻第５号，2000年12月）

「生産上の技術革新と多国籍企業――多国籍企業に関するトピックス――」『立命館経済学』第51巻特別号，2002年10月

「収穫逓増と自動車産業の理論的特徴―サプライチェーンの対 IT 産業比較―」単著（『季刊経済研究』（大阪市立大学）第25巻第４号，2003年３月）

「直接投資の変化とラテンアメリカ経済　上」『経済』No. 77，2003年２月

「直接投資の変化とラテンアメリカ　下」『経済』No. 78，2003年３月

「よみがえるブラジル経済」『経済』No. 131，2006年８月

「蘇るブラジル経済」（学習版）『別冊立命館経済学』（国際経済学科設立記念特別号）2006年９月

「ブラジルにこける新しい企業像の追求」『立命館経済学』第55巻５・６号，2007年３月

「多国籍企業における優位性論争―直接投資と『所有優位』―」『立命館経営学』第58巻第２号，2009年７月（塩見将来氏と共著）

「バラッサ＝サミュエルソン効果と『価値法則の修正』―対外直接投資の変動要因―」『立命館経済学』第60巻第６号，2012年３月

「高度福祉社会の成長経済―Nordic Model と対外直接投―」『立命館経営学』第52巻第２・３号，2013年11月

「相対価値と賃金・物価変動―直接投資の決定要因としての比較優位構造―」『立命館経済学』第62巻第５・６号，2014年３月

「『社会自由主義国家』とブラジス経済―小池洋一著『社会自由主義国家―ブラジルの「第三の道」―』を読んで―」『アジア・アフリカ研究』第55巻第１号，2015年

「為替レートの決定論と『価値法則の修正』問題」『立命館経済学』第64巻第６号，2016年３月

研究ノート

「F. フレーベル，J. ハインリクス，O. クレー著『新国際分業：工業国の構造的失業と発展途上国の工業化』」（森野勝好氏他２名との共著）『アジア・アフリカ研究』第24巻第11号，1984年11月

「アジア NICS（新興工業国）と日本経済をめぐる諸論点」『経済科学通信』No. 53，1987年７月

「ブラジルにおける自動車産業の発展」『ラテンアメリカ・レポート』（アジア経済研究所）Vol. 5 No. 1，1988年３月

「自動車部品工業と中小企業」『（通商産業省委託）発展途上国中小企業研究：ブラジル』アジア経済研究所，1990年３月

「持続可能な発展と地球環境問題：世界市民の人権問題を視角に据えて」単著（『アジア・アフリカ研究』第33巻第１号，1993年１月）

「日系企業の実態調査」共著（『（通商産業省委託）民間経済協力調査研究報告書：ブラジル』ア

ジア経済研究所，1995年，pp. 69-135 小池洋一と共同研究につき本人担当分抽出不可能）

学会報告

「ブラジルにおける自動車多国籍企業と自動車部品貿易」『国際経済学会　関西支部第27回支部総会』（香川大学）1985年6月5日

「ブラジルにおける自動車とその貿易について」『ラテン・アメリカ政経学会　第22回全国大会』（京都産業大学）1985年11月17日

「ブラジルにおける自動車産業の発展：組立部門の競争形態と部品部門の構造変化」『ラテン・アメリカ政経学会　第26回全国大会』（神戸大学）1989年10月21日

「多国籍企業の技術戦略とブラジル自動車部品産業」日本国際経済学会，第57回全国大会（関東学院大学）1998年10月25日

「大手企業は経済学部生にどのような力量の形成を求めているか」（横山政敏氏と共同報告）経済学教育学会第19回全国大会（名城大学），2003年年11月